

プロジェクト・マネジメント  
第1回 プロジェクトとは何か？  
プロジェクトと定常業務、ステークホルダ、目標  
本江正茂  
2010-06-17 (木)

担当教員 本江正茂  
motoe@archi.tohoku.ac.jp  
<http://www.motoelab.com/>

年次・学期 東北大学工学部建築・社会環境工学科 7セメスター  
木曜5限 (16:20-17:50) 建3教室

#### 授業科目の目的・概要及び達成目標等

概要：建築行為においては、事業・企画の発生から設計・施工を経て維持管理、そして解体にいたるまで、私たちはさまざまなコミュニケーションの形態をとりながらこれに関与する。従来の「建築生産」という枠組みはそのプロセスの一局面を示すものにすぎず、その長期にわたる複合的な活動は、むしろ建築ライフサイクル全体からなるひとつのプロジェクトとして捉えるべきだといえる。本講義では、建築をはじめとする様々なプロジェクトを、発案から計画、実行、危機管理、終結にいたるまでの動的なプロセスとしてとらえ、そのマネジメントにあたって必要となる諸概念とその運用スキルを習得することを目的とする。

#### 日程

2010年6月17日 (木) 1 プロジェクトとは何か  
2010年6月24日 (木) 休講  
2010年7月1日 (木) 休講  
2010年7月8日 (木) 2 プロジェクトの構造を明らかにする。企画書を書いてみる。  
2010年7月15日 (木) 休講  
2010年7月22日 (木) 3 プロジェクトのおかれている環境を考えて戦略を立てる

#### 評価方法

授業中に課す課題、授業への参加態度を評価の主材料とする。

#### 教科書・参考書・リンク

教科書は特に指定しない。

授業では、原則として毎回ハンドアウトを配布する。ハンドアウトは各回授業終了後にウェブサイト  
に置くので、欠席した場合などはダウンロードすること。研究室に取りに来ても予備はない。

#### 参考書

Project Management Institute 『プロジェクトマネジメント知識体系ガイド第3版 (PMBOKガイド)』 PMI東京支部監訳, PMI, 2004

サニー・ベーカーほか 『世界一わかりやすいプロジェクト・マネジメント』 中嶋秀隆ほか訳、総合法令、2005

広兼修 『プロジェクトマネジメント標準PMBOK入門』 オーム社、2005

司馬紅太郎監修 『空想プロジェクトマネジメント読本』 技術評論社、2005

阿部仁史, 小野田泰明, 本江正茂, 堀口徹 『プロジェクト・ブック』 彰国社, 2005

プロジェクトとは何か？

Project = pro+ject =前に 投げる

pro:

project, profit, proposal, professional, process, progress, product, procedure, program, promote, propel, prototype, provide, etc.

Q: これまで、何か「プロジェクト」に参画したことがありますか？

プロジェクトと定常業務

共通点

限られた資源という制約

人が実施する

計画、実行、コントロールの対象となる

相違点

有期性：はじまりがあり終わりがあ

独自性：以前はやったことがない

プロジェクトの成功と失敗

QCD：Quality, Cost and Delivery →うまい、はやい、やすい

Q: あなたが現在取り組んでいるプロジェクトについて

目標は？

有期性は？

独自性は？

Qualityの制約は？

Costの制約は？

Deliveryの制約は？

Project Management

各種の知識やスキルを利用し、制約事項のバランスをとりつつ、目標を達成する  
プロジェクトを成功させるための活動

Project Manager

PMerに必要なもの

知識、スキル、経験、勘、度胸

PMBOK

Project Management Body Of Knowledge

PMI (Project Management Institute)による体系化

1987年に初版、2004年に第3版

資格：PMP (Project Management Professional)

PMBOK：9つの知識エリア

統合、スコープ、タイム、コスト、品質、人的資源、  
コミュニケーション、リスク、調達

PMBOK：5つのプロセス群

立ち上げ、計画、実行、終結、監視・コントロール

## Stakeholders

プロジェクトに積極的に関与しているか、プロジェクトの実施あるいは完了の結果が自らの利益にプラスまたはマイナスの影響を受ける個人や組織  
ステークホルダーが満足すればPJは成功

スポンサー、マネージャ、マネジメントチーム、プロジェクトチーム  
顧客・ユーザ、母体組織、影響力者、PMO

## 着手に必要なこと

プロジェクトの目標  
プロジェクトスコープ  
必要な期限  
資源とコストの見積もり

## プロジェクトの目標

Q 何らかの成果を出す  
C 所定の予算内で完了する  
D 合意した期限内で終了する

## スコープ プロジェクトの規模のこと

どこまで達成するのか  
どんな資源が必要なのか  
期間はいつからいつまでか  
広がりや複雑さのトレードオフ

## 目標の設定基準を SMART に

Specific 具体的である、責任の所在が明確である  
Mesurable 測定できる  
Agreed-upon 合意されている  
Realistic 現実的である  
Timely 期限が区切られている

## 目標の策定プロセス

目標をリストに書き出す  
思いつくものすべて  
直接関係しないものを省く  
最終目標でないものは省く  
中間成果物は目標ではない  
SMARTであるか確認する  
その目標を外してよいか？

プロジェクトのテーマ

プロジェクトのステークホルダー  
ステークホルダー

役割

権限

-

-

-

-

-

-

-

-

プロジェクトの目標 (SMARTに)

-

-

-

-

-

-

-

-

学籍番号

氏名